



(平)

荒田目条里制遺構は、夏井川下流右岸の沖積地に位置する遺跡で、市道改良事業に伴って調査が実施された。郡符木簡などが出土した  
荒田目条里遺跡（本誌第一七号）とは隣接した位置関係にある。

調査は、試掘調査により確認された溝跡を中心にして実施した。調査の結果、溝跡二条、土坑五基を検出した。遺物は、主に溝跡の覆土中から出土しており、一八世

## 福島・荒田目条里制遺構

あつためじょうりせい

紀の陶磁器や漆器椀・盆、曲物をはじめとした木製品などがみられる。  
木簡は、第一号溝と第五号土坑から、計二点出土した。

### 8 木簡の釈文・内容

所在地 福島県いわき市平菅波字明星町ほか

調査期間 二〇〇一年（平14）一一月～一二月

3 発掘機関 いわき市教育委員会・財いわき市教育文化事業団

4 調査担当者 木幡成雄・斎藤美穂

5 遺跡の種類 水田跡・水路跡

6 遺跡の年代 繩文時代～近世

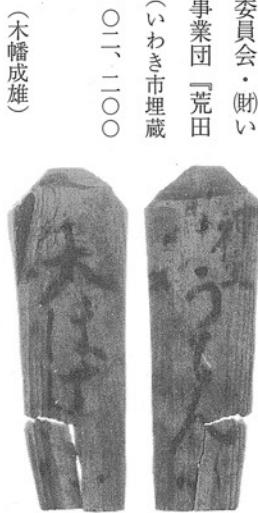
7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

荒田目条里制遺構は、夏井川下流右岸の沖積地に位置する遺跡で、市道改良事業に伴って調査が実施された。郡符木簡などが出土した

荒田目条里遺跡（本誌第一七号）とは隣接した位置関係にある。

### 9 関係文献

いわき市教育委員会・財いわき市教育文化事業団『荒田目条里制遺構』（いわき市埋蔵文化財調査報告一〇一～一〇〇四年）



(1)

(132)×22×4 019

80×28×5 011

### 第五号土坑

(1) 「神主 うもん」

・「大ほけ」

### 第一号溝

### (2)



(1)は小型で、下端に割れがあるが、完形品である。頭部は圭頭状で幅が広く、下端は幅をやや狭くしている。(2)は下端が欠損している。頭部は山形に整形されている。